

「 亀岡産砥石 最上の品質」

協会代表が講演



亀岡市の市民グループ「亀岡みらいパース」は、地域の魅力を探る市民公開講座の一環として、同市本町の法華寺に日本研ぎ文化振興協会の土橋要造代表理事を招いて話を聞いた。

「電スゴッ！」と題して職人や農業の担い手などを招いて5月から3回開いている。本堂に集まった市民を前に、東本梅町で砥石の採掘や加工、販売に携わる土橋さんが「天然砥石と研ぎの文

化」をテーマに話した。4代目にあたる土橋さんは、自宅周辺で1955年ごろのピーク時に300人以上の専門職が砥石の採掘や加工などに携わった歴史を紹介した。現在では従事者が激減したものの和食や建築などさまざま

まな伝統文化を支えていることや全国・世界各国の料理人、家具職人らが職場を訪れることに触れ「亀岡の丸尾山の石は最上の品質で、世界に誇るべき日本の文化を支えている」と語った。

(秋元太一)



亀岡産の砥石は最高品質で、日本の伝統文化を支えていることを伝える土橋さん(正面左)＝亀岡市本町・法華寺